

# 可児市児童センター 個別施設計画

令和2年12月

可児市こども健康部子育て支援課

# 目次

1	目的と位置づけ	1
(1)	目的	1
(2)	位置づけ	1
2	計画期間	1
3	対象施設	1
4	施設の現状と課題	1
(1)	現状	1
(2)	課題	3
5	今後の方向性	3
6	施設の劣化状況	4
7	施設の日常点検	4
8	対策の優先順位の考え方	4
9	対策内容と実施時期	4

## 1 目的と位置づけ

### (1) 目的

本計画は、可児市公共施設等マネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）および可児市公共施設等マネジメント基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断により得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定め、長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に取り組むために定めます。

### (2) 位置づけ

本計画は国のインフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく個別施設計画として位置づけます。

また、可児市公共施設等総合管理計画（基本方針及び基本計画）の下位計画に位置づけます。

## 2 計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。計画の達成状況を踏まえて、本計画は 5 年を目安に見直しを行うものとします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢による状況の変化、事業の進捗状況等に応じ計画の見直しを行うこととします。

## 3 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

番号	施設名	所在地	敷地面積	延床面積
1	帷子児童センター	東帷子 1024 番地 6	2,381 m <sup>2</sup>	409.17 m <sup>2</sup>
2	桜ヶ丘児童センター	皐ヶ丘 6 丁目 1 番地 1	桜ヶ丘地区センター敷地内	449.15 m <sup>2</sup>

## 4 施設の現状と課題

### (1) 現状

#### ア 施設概要（ソフト面）

施設の設置目的	18 未満の子どもを対象に健全な遊びを通してその健康を増進し、また情操を豊かにするとともに、地域におけるマイナス 10 カ月からの子育て支援の拠点として設置する。
施設の構成	遊戯室、図書室、集会室など
施設で行われる事務サービスの内容	開館時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 休館日：日曜日、祝日、12 月 29 日～翌年の 1 月 3 日、第 1、3 月曜日 利用者：18 歳未満の子どもとその保護者

イ 施設概要（ハード面）

施設名称	建築年度	構造	階層数	屋根	外壁	耐震状況
帷子児童センター	S58	RC	1	防水	タイル	新耐震基準
桜ヶ丘児童センター	H3	RC	1	金属	タイル	新耐震基準

※構造 RC=鉄筋コンクリート造

ウ 施設の利用状況

(ア) 利用者数の推移

帷子児童センター

年度	利用者数	年度	利用者数
H20	26,988人	H26	25,646人
H21	23,984人	H27	17,070人
H22	20,628人	H28	15,713人
H23	23,989人	H29	14,825人
H24	23,432人	H30	13,998人
H25	24,752人	R1	13,439人

桜ヶ丘児童センター

年度	利用者数	年度	利用者数
H20	30,040人	H26	23,474人
H21	24,413人	H27	21,999人
H22	25,979人	H28	23,533人
H23	25,438人	H29	22,807人
H24	25,718人	H30	21,727人
H25	21,962人	R1	17,569人

近年は親子が気軽に遊びに行くことができる施設が増え、目的に合わせて出かけられ、利用者数が全体的に減少傾向となっています。

(2) 課題

○利用状況

保護者と幼児は平日の利用が多くなっています。時間帯別のデータはありませんが、職員からの聞き取りでは午前中の利用が多いとのことでした。これは、幼児向けの各行事が午前中に行われていることや、午後は幼児が昼寝すること、家事などの生活パターンによるものだと思います。また、小学生を対象としたクラブ活動や季節の行事などが土曜日に行われ、多くの参加があります。

### ○夏休みの利用

児童センターの特徴として、夏休みの利用が非常に多いことがあげられます。これは親が送り迎えし、お弁当を持って一日過ごしている子がたくさんいるためです。キッズクラブと同様な使われ方をしていると言えますが、児童センターは子どもの遊び場を提供するものであり、キッズクラブのように保育を目的とする場ではありません。

施設の中で幼児と小学生以上の利用場所を分ける等の対応をとっていますが、混在すると危険な場合もあるため、利用者が非常に多い場合は事故などが起きないように管理をする必要があります。

## 5 今後の方向性

### ○子どもの居場所づくり

市民アンケート結果によると、サービスの拡充が望まれるなどニーズの高い分野であり、地区センター等の稼働率の低い部屋をサロンのように利用できるように検討します。

### ○複合施設の相乗効果を期待

建て替え時には、高齢者や障がい者の利用も可能となるような複合施設を検討することで、多世代間の交流を図ります。また、これらのサービスの複合により、高齢者の生きがいづくりや、障がい者の自立支援などの相乗効果も期待できます。

### ○適切な施設配置

乳幼児は、親の車で移動するため、施設に魅力があれば設置場所は関係ありませんが、就学児童の放課後の利用の観点から、建替え時には、地区の年少人口に応じた適所に建設することを検討します。

## 6 施設の劣化状況

建物内部、屋根、外壁について部位ごとの目視による確認を基本とし、部分的に触手及び打診調査を実施しました。

### ○建物の劣化状況の評価の定義

劣化度	評価基準
A	概ね良好。特に修繕上問題となる事項なし。
B	部分的な劣化が見られる。経過観察または修繕対応。
C	広範囲に劣化が見られる。5年以内に改修が必要。
D	劣化の程度が大きく、早急な対応が必要。
—	点検対象外。

○施設別項目別劣化状況

名称	劣化状況					
	屋根	外壁	内部	電気	給排水	空調
帷子児童センター	B	B	B	B	B	B
桜ヶ丘児童センター	B	B	B	B	B	B

7 施設の日常点検

施設利用者の安全確保、施設の予防保全による長寿命化のため、施設の日常点検（自主点検、法令点検、定期点検）を行います。点検において確認された不具合等については、履歴として記録し、以後に、修繕、改修を行う際や個別施設計画を見直す際に、考慮します。

8 対策の優先順位の考え方

利用者の安全性確保に係る改修を最優先とし、個別施設の劣化状況、各施設の利用状況、今後の方向性等を勘案し、総合的に判断します。

9 対策内容と実施時期

対象施設における今後の対策時期、内容、費用を算出しました。

費用は本計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や今後の災害発生等の状況、社会情勢の変化により、変動が生じる場合があります。

対策時期についても、本市の財政状況等により、変動が生じる場合があります。

児童センター

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容			空調	内部			外壁	屋根 電気	内部	屋根 内部	
費用	0	0	5,500	573	0	0	5,150	10,708 3,937	5,988	8,802 5,418	
年度計	0	0	5,500	573	0	0	5,150	14,645	5,988	14,220	46,076

うち帷子児童センター

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容			空調				外壁	電気		屋根 内部	
費用	0	0	5,500	0	0	0	1,391	3,937	0	8,802 5,418	
年度計	0	0	5,500	0	0	0	1,391	3,937	0	14,220	25,048

うち桜ヶ丘児童センター

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策 内容				内部			外壁	屋根	内部		
費用	0	0	0	573	0	0	3,759	10,708	5,988		
年度計	0	0	0	573	0	0	3,759	10,708	5,988		21,028